

## ニューフェイス紹介



技師  
河合 真

令和2年3月より当財団の技師として採用され、お世話になることになりました。この業界を離れて10年以上になりますので、一から勉強し直さないといけない浦島太郎の気分ではございますが、幸いなことに、財団には、経験豊富な諸先輩の연구원や技師の方々が集まっておられます。専門的な知識を持たれた皆様のご指導を仰ぎながら、微力ではございますが貢献させていただければ幸いです。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



연구원  
松本 修治

令和2年3月より、当財団にお世話になることになりました。私はこれまでにガラスメーカーおよび大学でガラスを中心とした非晶質材料の研究、材料開発、および製造・加工プロセス開発等に従事してきました。OCCでは耐火物に関連したテーマが主になります。耐火物とガラスは、共にセラミックスであり、研究対象として共通する部分も少なくはありませんが、慣れない評価手法と未知の業界用語に直面することもあります。まだまだ財団の戦力には程遠く、先輩職員には迷惑をかけてばかりですが、私にとっては未知の素材に触れる毎日は刺激的であり、とても楽しいものです。

今回、OCCの近所に引っ越しましたが、周囲には海だけでなく、小高い山もたくさんあり、休日には近所の山を散策し、自然を満喫しています。

微力ではありますが、「頼りにされるOCC」の一員にふさわしい연구원になれるよう、日々努力いたします。よろしくお願いいたします。



연구원  
中坊 一也

4月より、品川リフクトリーズからの出向で、新しく연구원として着任しました。直近は製造部におり、しばらく研究からは少し距離をおいた立場にありました。勝手の違いに戸惑うこともありますが、財団の一員として気持ちを切り替えて邁進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

これまでは主に、不定形耐火物の開発や製造に関わってきました。不定形耐火物に関しては幅広く手がけてきたつもりではありますが、いざ基礎研究に携わるにあたり、改めて耐火物の幅広さ、奥深さを感じるとともに、自分の勉強不足を痛感しております。これまでの経験をもって、活かせるは活かし、改めるべきは改め、新しい気持ちで新しいものを見つけていければと思います。